

びふか

議

会

です
こんにちは

2006 / 4

第57号

この議会広報誌は再生紙を使用しています



うれしいな、ピカピカ1年生

《美深小学校入学式》

主
な
内
容

第1回
定例会

平成18年度予算概要

2P~3P

条例の制定・改正

4P~6P

補正予算・意見書

7P

平成18年度予算特別委員会

8P~11P

一般質問 8議員が登壇

12P~16P

第1回臨時会

17P

委員会レポート

18P~19P

私からのひとこと 宮原宏明さん・登坂紘子さん

20P

平成18年度予算（7会計総額）

67億2930万円を可決

前年対比1.2%減



一般会計は

42億1000万円

前年対比2.5%減

平成18年度第1回定例議会は、3月6日から17日の日程で開かれ、町民の暮らしを支える7会計総額67億円余の行政執行方針が、町長並びに教育長から提案された。議会は、予算特別委員会（今泉常夫委員長）を設置、慎重に審議し、いずれも原案を可決した。そのほか、平成17年度会計補正予算・条例制定・一部改正など22件の議案、意見書案2件が審議され、原案可決した。

自立2年目、皆でちえを！

特別会計予算

会計名	H18年度予算	前年度予算	前年度対比(%)	
国民健康保険特別会計	6億4,714万円	6億8,161万円	94.9	
老人保健特別会計	7億6,749万円	7億2,965万円	105.2	
介護保険特別会計	保険事業 勘定	4億3,600万円	4億3,951万円	99.2
	介護サービス 事業勘定	2億3,093万円	2億3,555万円	98.0
簡易水道事業特別会計	4,120万円	3,894万円	105.8	
下水道事業特別会計	2億4,276万円	2億5,184万円	96.4	
水道事業会計	1億5,378万円	1億1,260万円	136.6	



平成18年度
一般会計予算を
見てみよう

一般会計は、2年連続減額の予算編成で前年比2.5%減となる中、歳出における性質別経費の状況は、消費的経費(人件費・物件費・維持補修費)は15億3,290万円(前年比3.1%減)で予算に占める割合は36.4%。

～町民1人あたりに
使われるお金は～

区分	1世帯あたり	1人あたり
予 算 額		
一般会計 421,000万円	1,709千円	766千円
町 税 36,339万円	147千円	66千円
まちの借金 667,679万円	2,710千円	1,214千円
まちの貯金 178,668万円	725千円	325千円

人口5,498人 世帯数2,464世帯
(3月31日現在)

まちづくり等に対する投資的経費は5億8,417万円(前年比6.6%減)で予算に占める割合は13.9%、その内投資的事業の工事請負費は、前年より21.3%増の3億8,612万円。補助費は4億5,773万円(前年比1.1%減)で予算に占める割合は10.9%、その内一部事務組合の負担金が約50%を占め、名寄地区衛生施設事務組合負担金4,163万円、上川北部消防事務組合負担金1億9,144万円、残りはまちづくりの振興対策費の補助金・交付金である。

扶助費(医療扶助費等)は、1億6,442万円(前年比10.3%減)で予算に占める割合は、3.9%。公債費(借入れ返済額)は、前年比2.2%減の1億2,074万円(前年比24.2%減)で予算に占める割合は2.2%。厳しい財政状況を背景に、効率化と節減を基本とした緊縮型の予算となる。

◎新規予算化の主なもの
民生費 特別養護老人ホームの給湯・暖房設備の改修費4,360万円、障害福祉計画策定業務の委託費41万円。

農林産業費 農協が実施するハウス野菜振興補助金396万円、農業振興センター裏の排水路整備費900万円、恩根内放牧場の草地整備補助金250万円。
商工費 道の駅トイレ増設改修費1600万円、美深温泉客室改修費等5090万円、SUN21大会議室の暖房・照明設備改修費300万円。
土木費 スーパー林道擁壁

工事費1770万円、美深駅東地区排水路工事費377万円。
教育費 幼児センター建設整備調査費150万円、エリアルコース造成工事費2200万円。
一方、一般会計における町が調達できる自主財源は7億9,514万円(前年比)で歳入に占める割合は18.9%。残りは、地方交付税等の依存財源である。

平成18年度一般会計(歳出)

科 目	H18年度予算	前年度予算	前年度対比(%)
1 議会費	6,348万円	6,338万円	100.2
2 総務費	1億5,842万円	1億6,369万円	96.8
3 民生費	5億 259万円	4億6,385万円	108.4
4 衛生費	3億3,382万円	3億3,056万円	101.0
5 労働費	1,107万円	1,113万円	99.5
6 農林産業費	1億8,861万円	2億5,177万円	74.9
7 商工費	1億8,856万円	1億4,421万円	130.8
8 土木費	4億5,969万円	5億4,236万円	84.8
9 消防費	1億9,167万円	1億9,237万円	99.6
10 教育費	2億9,666万円	2億8,375万円	104.5
11 災害復旧費	202万円	202万円	100.0
12 公債費	10億2,074万円	10億4,322万円	97.8
13 職員給与費	7億8,717万円	8億2,219万円	95.7
14 予備費	550万円	550万円	100.0
歳出合計	42億1,000万円	43億2,000万円	97.5

第1回 定例会



平成18年第1回定例会で提出された議案のうち条例の制定は、武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する条例他1件、一部改正は10件、町道路線の廃止1件、平成17年度一般会計・国民健康保険特別会計・老人保健特別会計・介護保険特別会計・下水道事業特別会計・水道事業会計の補正予算ほか、道州制特区推進法案に関する意見書、「高校教育に関する指針」に関する意見書が原案可決された。

国民保護のための仕組

▽美深町国民保護協議会条例の制定

この条例は、武力攻撃事態や大規模テロなどが発生した場合、国をはじめ各機関が国民の安全確保のための事態対処法制の一つとして「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」が平成16年9月17日施行され、これに基づいて市町村協議会設置及び関係の条例を整備するもので美深町国民保護協議会の組織及び運営に關し必要な事項を定めることを目的として委員の定数は、20人以内にするなど委員会及び専門委員など町長の任命となる。

総務常任委員会に付託し、審査の結果報告がされ原案可決。

▽美深町国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例の制定

「国民保護法」の施行に伴い国民保護対策本部に係る規定が緊急事態対策本部に準用されていることを踏まえ、町対策本部を組織し本部長ほか本部長・職員を置き必要に応じて国・町の職員以外の者を会議に出席させ意見を求めるとし、部を設け個別に検討するなど規定するもの。

総務常任委員会に付託し、審査の結果報告がされ原案可決。

職員等の給与が下がる

▽職員等の給与に関する条例の一部改正

町職員等の給与は、国の人事院勧告に準じて改正された。

- ① 地域的な民間給与との格差を是正することを基本とし、基本給を平均4・8%引き下げによる給料表の改正。
 - ② 年功序列の給与体系から、職務・職責に応じたものへの見直し、勤務成績を適切に反映する昇給制度の導入で、時期を「4月・7月・10月、1月の各1日」から「1月1日」に改正。
 - ③ 昇給の際の号俸「1号俸」から「4号俸を標準」に改正。
 - ④ 55歳昇給停止を廃止し、55歳を超える者及び枠外昇給の際の号俸数を「2号俸を標準」に改正。
- 総務常任委員会に付託し、審査の結果報告がされ原案可決。

各種委員の報酬が下がる

▽特別職の職員で非常勤のもの、報酬及び費用弁償並びに臨時の委員等の実費弁償に関する条例の一部改正

町青少年問題協議会・町総合計画策定審議会・町企業開発審議会など条例に定める委員に対する報酬額について日額報酬7000円を、職務従事時間が4時間未満の場合は、4500円に改正する。



事故の救出訓練



▽美深町手数料徴収条例の一部改正

屋外広告物の許可については4月1日から美深町で取り扱う。

国の地方分権推進による取り組みのなかで、住民により身近な事務・権限を北海道から市町村に平成18年度から委譲するもの。

屋外広告物とは

自家用・案内用広告物で、地上・壁面・屋上に設置するものや立看板・旗などである。

屋外広告物条例とは

街のにぎわいを演出する広告物が、景観や環境を乱さないために定めたルール。

屋外広告物の許可

広告物の設置には許可が必要となるが美深町では、自家用広告物の10㎡以下は許可不要である。

今後は設置などで支庁との確認、協議で柔軟な対応と調整を望む意見が出された。

保険料100円アップ

▽美深町介護保険条例の一部改正

今回の改正は、平成17年6月の介護を予防する観点から介護保険制度の改正に伴う所要の改正で、介護保険事業計画の策定を進めており、計画に伴う事業に基づき介護保険料を現在の基準額月額3500円を3600円に改め、それに伴う保険料の改定。



有料となる広告物

①保険料段階区分の第2段階を2つに分割し、現行5段階を6段階に改め低所得の方、非課税家庭などに配慮された改正。

②第3期計画に伴う第1号被保険者に係る保険料現行3500円から1000円引き上げて3600円とし保険料の引き上げは、第1号被保険者の負担率の1%増、さらには介護予防事業の充実などによるところの改正。

③地方税法改正に伴う町民税の平成18年度及び19年度保険料の急激な負担増を招かないよう経過措置をし、課税範囲を拡大した。

社会文教常任委員会に付託し、審査の結果報告がされ原案可決。

毎日の暮らしの、ちょっとした工夫

- 一、明日を今日より楽しい日にする。
- 一、いつまでも、気持ちを若く保つ。
- 一、栄養のバランスがとれた食事をする。
- 一、もっと、おしゃれを楽しむ。



介護支援事業

▽美深町介護予防・生活支援事業の実施に関する条例の一部改正

平成12年に導入された介護保険制度が今回大幅に見直され、「介護予防事業」「身体障害者に対するサービス事業」「短期入所事業」の事業メニューの見直しと「一部利用者負担基準額」の改正で、65歳以上の要介護予備軍らに対し虚弱な高齢者の重度化を食い止める目的と介護給付費の伸びを抑える狙い。



転ばぬ先の杖

特定高齢者とは

自立しているが、要介護、要支援になる恐れのある高齢者をさす。介護対象者と異なる区分で、平成18年度から市町村が選ぶことになった。村が選ぶ人が対象となる。健康者と要介護・要支援認定者の間の「グレーゾーン」にいる人が対象となる。特定高齢者になると運動機能の向上や通所型の介護予防プログラムに1割負担や無料で参加できるが、介護保険は利用できない。

託し、審査の結果報告がされ原案可決。

▽美深町社会福祉施設開放事業条例の一部改正

老人施設のもつ設備や機能を地域住民に開放し、施設と地域住民との交流や介護をする高齢者等の生活の確保と改善を助ける目的で一部改正された。

なお、この事業の利用対象者は特定高齢者と、介護保険において判定された人等となっている。

社会文教常任委員会に付託し、審査の結果報告がされ原案可決。

▽美深町寝たきり老人等介護手当支給条例の一部改正

寝たきり老人等の在宅介護の支給拡大をおこなう。①寝たきり老人等の定義を

要介護度3以上とする。

②介護期間6カ月到達の規定を3カ月到達に短縮。

社会文教常任委員会に付託し、審査の結果報告がされ原案可決。

▽美深町老人デイサービスセンター設置及び管理条例の一部改正

美深町老人デイサービスセンター「ふれあい」(特養併設)「やすらぎ」(厚生病院併設)の2施設の管理及び運営を、法人・その他へ美深町長が指定する者に行わせることが出来るように改正された。

▽美深町国民健康保険条例の一部改正

子育て支援対策として、被保険者の属する世帯主に對し出産育児一時金の支給がされるが、その金額が30万円から35万円に改正された。

▽重度心身障害者及びひと



必要な子育て支援

▽親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正

知的障害者援護施設入所者の医療費については支援費制度で公費負担されていたが、障害者自立支援法の施行に伴い公費負担制度が廃止になった。

▽町道路線の廃止

ひまわり団地2号道路は公営住宅整備により区画整理され廃止とした。

補正予算

▽平成17年度美深町一般会計補正予算

今回の補正の主な内容は歳入で地方交付税2846万円が追加交付となった。

歳出で民生費865万円農林産業費650万円の事業減となり、減債基金に3000万円を積み、予算総額から歳入歳出それぞれ119万円を減額し44億8899万円とした。

質問 土地改良事業費の減額は、当初計画面積と事業実施面積の差がでたからか。
産業G主幹 事業計画面積と実施面積に差はないが、原因は草地整備事業で、工事内容の変更により減額。畑総事業では事業費と入札減による。

質問 医療業務委託料減の要因は医師不在によるものとおもうが対策は。

保健福祉G主幹 昨年まで勤務していた医師がこの2月から常勤として着任している。

質問 今年度の新規就農者は。

産業G主幹 平成17度新規就農者2名の研修者を受け入れ、1名が定住した。さらに1名を募集したが該当者がなかった。

質問 高校生の通学助成金が減額となったが当初の人数は。

教育次長 予算は14名でみたが9名となり5人分の減で、通学範囲は中川・音威子府・名寄からである。

(質問者 倉兼・藤守議員)

▽平成17年度国民健康保険特別会計補正予算

歳入歳出24万円を追加し総額6億8018万円とした。所得の減収により保険税の減収となったが、歳出の医療費に変化がなかった。

質問 高額医療費の支払い方法の住民対応は。

住民生活課長 受領委任払い制度を病院と町が契約している。被保険者は自己負担限度額のみを支払いとなっている。

(質問者 林議員)

▽平成17年度美深町老人保健特別会計補正予算

歳入歳出に669万円追加し、総額8億1857万円とした。

主な要因は医療給付費の増額による。

▽平成17年度介護保険特別会計補正予算

介護サービス勘定歳入歳出総額から78万円を減じ、総額2億3812万円とした。

減額の要因は利用者の減により収入減となり、一般会計繰入金を充当した。

▽平成17年度美深町下水道事業特別会計補正予算

浄水管理委託料及び個別合併浄化槽設置戸数減等により、391万円を減じ総額2億4789万円とした。

▽平成17年度美深町水道事業会計補正予算

水道事業収益は、水道使用料33万円減となり9624万円とした。水道事業費用は26万円を追加し8183万円とした。

資本的収入では38万円を減じ総額909万円とし、資本的支出においては74万円減じ2846万円とした。

▽守りたい、地元の高校 △

新たな『高校教育に関する指針(素案)』において、高校配置については、1学年3学級以下の小規模校は、原則として、再編整備の対象であり、高校配置は、画一的な基準で行うことなく、地域性や広域性について、地元自治体や地域の住民の意見を十分に尊重し、将来に禍根を残さないよう十分に時間をかけた議論を行い、地元の実情が得られない場合は、平成18年中に予定している平成20年度以降の具体的計画の公表を行わないよう要望する。

提出者 菅野議員
賛成者 藤守・今泉議員

提出先 北海道知事

意見書を提出しました

▽慎重に進めたい道州制 △

北海道道州制特区推進法案の検討に当たっては、次の点について慎重に対応をされるよう強く要望いたします。

- ① 道州制の実施による具体的な地方自治制度の全体像を明らかにすること。
- ② 各種北海道特例の必要性を真摯に受け止め、北海道特例を将来にわたり維持すること。
- ③ 5年後の見直しを前提として、現在、国が実施している国道及び河川の整備・管理業務は、シビルミニマムとして国の責任において実施すること。

提出者 藤守議員
賛成者 菅野・今泉議員

提出先 内閣総理大臣・内閣官房長官・内閣府特命担当大臣(規制改革)・財務大臣・国土交通大臣・北海道知事

を 守 る 算 を 審 査

予算特別委員会

平成18年度

三位一体改革に伴い、地方交付税・臨時財政対策債を含め5・1兆円の削減、地方交付税に約6割を依存している我が町の予算も厳しく、一般会計ほか5特別会計及び水道事業会計の予算総額は67億2930万円、前年と比較して約8039万円の減。特に一般会計は、1億1000万円の減額で特別会計の老人保健会計は、医療費の増により約3784万円の増となり厳しい予算となる。



今泉常夫予算特別委員長

総務費

質問 職員給与も減額となるが、庁舎管理・清掃・警備を含め職員での検討は。
総務課長 庁舎内の管理は従来と変わり週1回の清掃、職員席回りは自分で極力清

掃を行うよう進めている。
質問 灯油・ガソリン等の高値に伴い自治会・コミセンなど、油代等の予算措置された経緯は。
企画G主幹 コミセンについては、指定管理者の算定時、管理料に含めてある。

質問 職員厚生費で、職員の親睦費に対して、補助金一人3500円の経費を当てているが、町民として疑問を感じる。またこの補助金は親睦だけのものか。
総務課長 職員の親睦会の補助金は、健康維持促進・体育活動の推進に補助をしていたが、今年度からは体育振興については、カットし厚生補助のみとした。

質問 今までの夜間警備が4月より午後11時以降は無

人で機械警備を行なうというが体制は。

また美深消防署の対応は。
総務課長 機械警備については、名寄の警備会社に通報され、担当のものが指定の現場の確認をするようになっていている。
消防署は電話受けのみとなっている。

質問 町の費用弁償は、今まで7000円が、条例改正により「4時間未満は4500円とする」とあるがその予算措置は。
総務課長 対象者は、85人延べ回数は133人4500円にすることにより33万円の減額になる予算見積りです。

質問 鮭観橋の街灯新設に対して40万円と計上されているが、現在は太陽光発電によるものも出ているので、その設置の考えは。
生活環境G主幹 太陽電池の街灯については金額も高く、また修理費も高額のため普通の水銀灯での設置を考えている。

(質問者 倉兼・藤守・菅野・岩崎・諸岡・南・林・斉藤委員)

民生費

質問 美深育成園運営補助金は、ここ数年で半額になっている。子供達の健全育成の視点から見て、より一層のバックアップが必要と思うが。

助役 育成園の運営補助金については、行政改革の一定の方向に基づき、双方の合意の中での予算の計上。



元気な子供たち

暮らし 新年度予



教育長



町長

質問 子育て支援短期利用事業での施設の利用は何件あったか。

保健福祉G主幹 17年度では、1件の利用が有り対象は1歳・2歳児の子供2人を預かっている。

(質問者 諸岡・斉藤・倉兼越智・林・藤守・村山委員)

衛生費

質問 炭化ごみの収集運搬は週1回の収集だが、6月～9月の間、週2回の収集にできないか。

生活環境G主幹 名寄の炭化センターの取り扱いを見ても週2回の収集は難しい。いろいろなやり方がある。

ので今後検討をしたい。

質問 衛生事務組合の負担金原資の償還が今年から増額となるが、昨年の炭化ごみの量は500トン、今年の見積りトン数の計上は。生活環境G主幹 今年の炭化ごみ数量は472.5トンで積算、実績割でいくと1944万円の見込みとなる。

(質問者 倉兼・藤守・斉藤・諸岡・林委員)

商工費

質問 びふか温泉2階客室部分の改修は必要か。

助役 時代のニーズに 대응する客室形態にする事が必要、温泉を含めたアイランド全体を観光の拠点と考える。

質問 夜市事業補助金の廃止はなぜなのか。

町長 夜市事業を廃止せよと言うのではない、自分達でやれないかと言う事で、活性化事業でも対応が出来る。それで対応が出来ないものや新規にやりたい事があれば前向きに対応したい。

質問 物産館のトイレ改修はどの様に行うのか。

助役 現状の男子用と女子用の場所を入れ替え、状況から判断して、女子用を増設し男子用を減らすもの。

質問 松山湿原等の観光に力を入れるべきでは。

町長 北海道遺産となった天塩川の活用方法を開発局と相談しており、松山湿原と美深温泉をセットでPRして行きたい。

(質問者 岩崎・林・藤守・菅野・諸岡・越智委員)



農林産業費

質問 中山間地域等直接支払い交付金の減額理由は。産業G主幹 交付金は2地区に交付される。

恩根内牧場は、国の制度改正で前年比20%減になる。

質問 中山間地域等直接支払い交付金を、農畜産物販路拡大に使えないか。産業施設課長 農協をはじめとして生産加工部会等組織で活用する事は可能。

質問 牛乳の生産調整の販

路拡大事業に補正予算を組む考えは。

町長 全国・全道的な運動を展開し、地元での運動も大切、必要が生じた時は、積極的に考えていく。

質問 農業改善事業推進交付金は、どの様に交付しているか。

産業G主幹 各営農集団の農用地集約事業に対し、均等割・人数割・事業実績により交付する。

質問 農用地利用改善連絡協議会は必要か。産業施設課長 各営農集団で解決の出来ない問題を協議会で、情報交換を行い解決に向けた協議を行う場として必要。

質問 へい獣処理場は必要か。また、昨年の実績は。産業G主幹 17年度は、利用実績はないが、畜産農家の負担を考えれば、維持管理していく必要と考える。

質問 農業振興センターの活用方法を検討すべきと思うか。

町長 農業改良普及センターの事務所と改良普及員の活動の場として活用できないか、道に非公式ではあるが

土木費

質問 小公園維持管理作業の委託先は。

施設G主幹 高齢者事業団に委託する。

質問 役場駐車場の雪の堆積で、町民は不自由を感じている、対策を講じるべき。

助役 職員に、ノーカーデーを設定し、町民最優先を考えている。

産業施設課長 他市町村の例などを考え、融雪に地下水利用も検討してみたい。

質問 公営住宅の管理システム委託の出身は。

管理G主幹 入居者の管理・家賃の設計・納付書の発行等保守点検全般の業務を行うもの。

質問 電波利用料とは何か。

施設G主幹 除雪車のパーソナル無線利用料の事で、除雪車間の連絡や現場の担当者間の連絡に使用している。

質問 天塩川の増水時に伴う各地域の対応は。

総務課長 各地域自治会に自主防災組織の立ち上げをお願いしている。
自治会の防災連絡体制を



対策が必要な駐車場の雪山

確立し、行政窓口と連携できるシステムを平成18年度中に作りたい。

(質問者 藤守・斉藤・岩崎・倉兼・林・村山・諸岡委員)

消防費

質問 職員待機宿舎の住宅料についての考えは。

総務課長 町の職員住宅と同じ考え方で17〜20%の引き上げを検討している。

質問 非常勤の特別職に関する報酬の考えは。

総務課長 行政機関からの委員には、報酬は支払われない。
(質問者 倉兼・林委員)

教育費

質問 幼保一元化形態の基本構想と、実施設計はどのようなに進められるのか、また、構想は公表すべきでないか。

教育長・次長 総合型の施設でなく、既存の施設を有効活用する併設型としているが、固まった段階で地域と父母に説明したい。

質問 現在、幼児センターの機能を保健センターに委ねているが、一元化後の対応は。

教育長 既存の保健センター施設機能を有効活用する。

質問 プロジェクトチームの構成は、民間からの起用は。

教育次長 役場・教育委員会等町職員10名で構成し、民間からの起用は考えていない。

質問 ホスターホーム指導員二人の時間帯に区切りがないように思うが、賃金基準は。

総務課長 町の基準を準用し、勤務時間帯は一人月21日で1日8時間実働勤務。

質問 長期継続契約のため運転管理委託料が減額されているが、燃料価額等の変動対応は。

教育G主幹 燃料等価額の変動が著しく経営を圧迫する事態の時には精算する旨の契約内容になっている。

質問 代替用スクールバスの有効活用で経費の節減を図れないか。

教育次長 緊急避難的な要素で待機させている代替バスは、休日、学校等クラブ活動に使用している。

質問 エアリアルに関し指導者・造成工事等について、競技関係者との話し合いの経緯は。

町長・教育次長 SAJと協議し、公認コースの設計が進めているが、専門指導者は町外からも視野に入れて今後検討したい。

(質問者 小田中・倉兼・菅野・藤守・宮岡・諸岡・岩崎委員)



幼保一元化が待たれる保育所

申し入れしている。
質問 農業後継者のパートナー対策を進めるべき。
町長 農業後継者育成推進協議会で、花嫁対策を進めていきたい。
質問 ハウス野菜導入事業の取組み内容は。
町長 野菜振興の観点から農協がリース事業として行うもので、平成18〜19年の2カ年計画で45棟の野菜ハウス建設に補助するもの。
(質問者 南・岩崎・酒井・越智・倉兼・諸岡・菅野・藤守委員)

国保会計

質問 17年度から納期回数を増やしたが、収納率の傾向は。

事務G主幹 現年度分は未確定だが、18年度は97%で計上した。

(質問者 藤守・倉兼委員)

介護保険会計

質問 介護保険に新たに加わった運動機能向上事業の内容と特定高齢者の考え方は。

保健福祉G主幹 従来の老人保険事業を内容とし、要介護対象にならないための運動教室に参加していただく方としている。

質問 在宅認知症介護のケア方針は。

保健福祉G主幹 新年度から家族介護教室を開催し、心の指導・技術指導等に取り組む。

(質問者 岩崎・藤守・倉兼委員)

下水道会計

質問 今後の個別排水合併処理施設の設置希望者対応の考えは。

町長 これまでの経緯もあるが、新しい考え方として補助金で対応し維持管理等は設置者負担で検討したい。

(質問者 斉藤・藤守・倉兼委員)



デイサービス流しそうめん

歳入

質問 地方譲与税が増えている根拠は。

事務課長 地方譲与税の内、所得譲与税の増が主である

が、19年度からは三位一体改革の税源移譲で所得譲与税はなくなる。

質問 物産展示館の指定管理者が利用料を支払う根拠は。

助役 物産館内の店は指定管理に入っていないので、この分の建物に係わる利用料として収めてもらう。

質問 指定管理施設で、町が支払う管理料と利用料の区分けに誤解を招く恐れがあるのではないか。

助役 相対的な考え方で対応しており、営業以外の施設を指定管理していることを理解してほしい。

(質問者 林・斉藤・越智・藤守・倉兼・南・酒井・菅野・岩崎委員)

総括質疑

質問 エアリアルの公認コースを造成することになるが、この施設の政策的な運用は。

教育長 各種大会の誘致要請をする他、指導員を道の方へ要請しながら子供を養成するために努力したい。

町長 本年度の予算は施設にだけ出しているが、人材

養成については北海道教育大学と協力協定を結び、更に今後は指導者を要請する中で将来のまちづくりにつなげたい。

質問 ①商工会事業、特に市街地のイベント事業などは残しておくべきでないか。

②チョウザメ館の部分を取入れ、観光事業に後入るべきでないか。

③昨年のアスベスト検査結果で体育館に使用されていることが判明し、今後は年2回の検査をすることになるが、これらは指定管理の中で対応されるのか。

町長 ①商工会が実施されている夜市事業の財源補填として商店街活性化事業費を活用すべきと思う。

②今の施設を最大限利用して孵化事業をやりながら、「チョウザメのまち」美深の宣伝に効果を上げたい。

教育主幹 ③管理の権限委任を受けている指定管理者の方でアスベスト濃度測定検査・消防用の点検等を行うことになる。

質問 びふか温泉の現状と今後の対応をどのように考えているか。

町長 指定管理者制度になって1年目であり、施設の整備を含め、更に食事を研究しながらサービスに努めたい。

質問 自主財源確保の方策は。

町長 行政が最大限の経費節減に努める中で、町民負担を求めながら人口定着に向けた方策をたてたい。

(質問者 酒井・越智・倉兼・菅野・岩崎・林・藤守委員)



にぎわう夜市

質 問



酒井 議員

質問事項

1. 市町村合併について
2. 行政機構について

町村合併の 組み合わせは

質問 道は6〜7月頃に市町村合併の組合せを決めて、自発的に合併を進めるようにとの考えであるが、この点について町長の考えは。報道によると上川北部9市町村長の意見交換会が行われたと知るが、席上近隣市町村長の考えは如何なものなのか。

ただちに協議は

難しい

町長 精力的に新法に合わせた合併議論をしたが、法定協議会へも至らなかった。12月14日開催の道市町村合併推進審議会で、それぞれ市町村の結びつきの分析を検討し結果が報道されたが、合併新法の中で出来れば合併を進めてはという道の一応の指導であって強制的なものではないと道は言っている。

市町村長会議では、名寄・風連の合併が先行で、時間が必要。会議では説明を受けた。直ちに協議は難しい、この問題にはあまり意見が

出なかった。

今段階では、ないと各市町村とも理解している。

農用地の申請は

質問 農用地利用改善事業の取組みは、地域に利用改善組合があるが、提出される書類等の受付、チェックは農業委員会でするべきか、産業関係で目を通すのか町長の所見は。

内部協議で

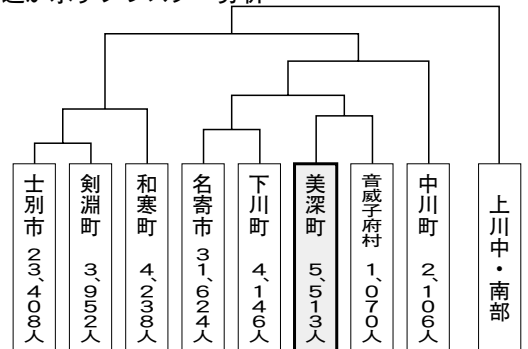
町長 農用地利用改善組合の事務等の問題を農業委員会と町で密接に協議をし、処理をしなければならぬが、機構改革をしたので機能を十分発揮できる様にこれからも内部で協議をし、進めていきたい。

非認定農業者への 対策は

質問 平成19年からの品目横断的経営安定対策により、高齢者・小規模農家の経営継続は厳しいものとなる。離農を決定する農家が急増することも予想され、不耕作地を発生させない対応が緊急の課題である。

農地の受け手不足が進行している現状でどう対応されるのか。経営安定対策は年限のないものであり、国の支援策は全農家対象から担い手農

道が示すクラスター分析



家対象へ方向転換された。対象外農家の経営継続と安定について本町の農政としてどう取り組むのか。

ハウス野菜振興に 補助

町長 国の担い手農家重視の農政の転換は評価するが、高齢・小規模農家が当町の農業を支えたことを考え、その対応は重要課題。

担い手は集団や法人の方法もあるので、農家・農業団体とも相談しながら行政としても指導していきたい。認定農家でなくとも営農

質問事項

1. 農業振興について
2. 地域担当員制度について
3. 老人寮の建設について
4. 少子化対策について



越智 議員

般



倉 兼 議 員

質問事項

1. 平成18年度町政執行方針について
2. 平成18年度教育行政執行方針について

どうする 今年の施策

質問 合併問題を問う。

自分の間自立と決めた我が町だが、道庁や近隣の取り巻く状況から、方向転換の姿勢も必要ではないか。

また、道州制に対する考えは。

町長 助役段階で、広域連携の話をしているが、名寄市・風連町の合併が落着いてから具体的な話になる。道州制の情報極めて少ない。

制度に反対ではないが、我々が充分理解の出来る法律が必要で、欠点だらけの法律では地方は良くならないと申し入れている。

質問 人口対策を問う。

道は、人員削減を打ちだしたが、出先機関の多い本町の置かれる状況は。

また、団塊の世代を迎え、定住対策の取組みは。

対策に努力

町長 国、道の行財政改革が進んで、出先機関の統廃合も進んでいる中で、旭川



ハウスでの野菜振興

開発建設部道路維持事業所や農業改良普及センターの総務的な部分が統合によって若干の減員になるが、存続運動は続けていく。

道が進める「北の大地に移住促進事業」等との連携や高齢者事業団を中心に退職者対応を含め、定住対策に努力する。

質問 農業後継者パートナー対策を問う。

営農農家の20%位に独身者の後継者がいる。専従の世話人の配置など農業者・関係機関連携の早

を継続してもらうためハウス野菜振興に補助をする。戸数の共同も研究してほしいと期待している。

町を思う情熱を 担当員制度で

質問 平成11年度議会の一一般質問で地域担当員制度を提案したが、職員が御用聞きになるのでは、町民の自意識を高めてから、このことであったが、6年間でその環境が整ったから制度

急な対策が必要。

町長 インターネットによる情報提供や専従者の設置も含めて、農業後継者育成協議会で相談していく。

質問 商工振興策を問う。

TMO計画は凍結されたとの事、歯抜け状態の中心市街地再生に、行政の積極的な取組みが必要。

町長 時代の背景から今年2月商工会で凍結を決定されたが、将来を考え駅東地区の整備等に取り組んでおり、中心市街地対策に今年から2年間で国道40号線の

の導入となったのか。

地域担当職員も 住民

住民

町長 地方のことは地方での制度の変化もあり、指定管理者制度や自主防災組織など職員が地域に入りサポート役に努め、住民とともに地域振興に参加してほしいとの願いを込めての平成17年度の導入となった。

歩道整備も進める。

市街地の歯抜け対策は、我々も真剣に考えていく。



質 問



藤 守 議 員

質問事項

1. 美深町の義務教育の将来像と学校改革の取り組みについて並びに美深高校の支援対策と今後の課題

学びやづくり 対話を

質問 北海道教育委員会は、小中一貫教育のモデル校づくり、高校教育に関しても中高一貫校の設置計画を進めるとの教育方針であるが、今、新たに高等学校の再編問題が浮上し、将来の小中高の学校のあり方についてのどのように議論されたか。
小中学校の改革に向け学校施設整備策定委員会からの基本構想について説明がなのまま基本設計に入る考えか。

高校の配置換えは地域の子供たちの教育の機会を失うことになる今日まで地元が支援してきていることを訴えすばやく対応すべきでないか。

議論し、より良い 学校をつくる

教育長 道教育委員会執行方針については深く議論はしているが、一貫教育の取り組みについて本町としては取り組みまない方向で改革に取り組む。
道教委の考えは、小規模

校を対象とした特区制度であり、一貫教育は短期間で進めることが出来ない難しさがある。
小中の改革については行政改革の中で計画し昨年実施した改修基本構想を基礎とし本年基本設計業務を進め19年度から着工の予定であるか。
高校存続については、上川管内で高校教育に関する特別委員会を岩木町長が会長で設置した。
その動きと連動させながら取り組みたい



南 議 員

質問事項

1. スキーエアリアルプロジェクトとスポーツ振興について

再質問 本格的な議論がなのまま19年着手出来るのか考えか。
高校問題は2008年には再編されかねない。
委員会として地元対策も必要では。

教育長 基本構想の段階で教育局、道の所管とは進めているが、今日まで議論したことを基本設計に活かす取進めたい。

道立高校であり地域運動を委員会がというのでなく行政と対応をしていきたい。

エアリアル普及の 経緯と目的は

質問 18年度教育行政執行方針にスキーエアリアルプロジェクトの推進があるが、町民になじみのうすい競技を普及させる目的は。

美深町から オリンピック選手を

教育長 16年10月管内体育協会研修会が美深町で開催され、日本オリンピック委

員会の講師から、美深町がスキーに適した自然環境・トランポリンが盛んである点に可能性をアドバイスされたのがはじまりであり、その後、選手の発掘、地域の活性化を目的に合宿誘致、協議会の開催等が全日本チームに評価され、オリンピック選手輩出を目的とするタレント発掘養成プロジェクトへの参加の要請があった。これを進めるに当たっては施設の整備が不可欠であり、今回予算化した。



改築される小学校

般



今泉 議員

質問事項

1. 観光対策について

観光体制で 市街地活性化を

質問 平成19年から始まる
団塊世代の農漁村への志向
を踏まえ、施設の改善と並
行した観光産業の連携と行
政支援の充実がより重要に
思う。

現在、観光協会は主とし
てイベント事業を関係団体
の協力を得、更に商工会職
員の全面協力体制に依存し
た中で推進されているが。
本年4月から商工会は厳
しい課題の対応から2町1
村（美深・音威子府・中川）
による広域連携体制に移行
することに、観光協会
業務遂行に少なからず支障
をきたすことが懸念される。
足腰の強い観光協会の充
実を図るためにも、行政の
支援体制を視野に入れた観
光対策の方向性を検討すべ
きでないか。

また、本町は地理的好条
件の他、恵まれた自然環境
の観光地を求めて来られる
観光客を含め、いかに市街
地活性化につなげるかその
方策を伺う。



第1回エアリアル町長杯

対応策は年度内に 結論出したい

町長 団塊世代の3割以上
が北海道の農村地帯に関心
を寄せている傾向を真剣に
受け止め、その対応が町お
こしには欠かせないものと
考えている。

観光対策は、現在観光協
会が主体で商工会の協力を
いただき、行政と一緒になっ
てイベントを展開している
が、新年度からは商工会の
広域連携移行を踏まえ、観

指導体制の確立は

再質問 なじみのないスポー
ツだけに、競技経験者の指
導者に定住してもらうこと
が成功へのスタートではな
いのか。

また、他のスポーツ振興
も含めて体育協会のNPO
や法人化、役場内において
もスポーツの専門部署が必
要ではないか。

専門指導員 定住に努力

教育長 当面は全日本スキ
ー

光協会のあり方について体
制を含めて観光協会・商工
会等と協議し、年度内に結
論を出したい。

更に、町内的な観光施設
特に函岳登山道路の改修で
登山者の安全を図るほか、
松山湿原・トロッコ王国・
北海道遺産指定の天塩川等
を存分に活用しながら、今
年から始まる40号線市街地
の歩道改修で街の美観につ
ながることを期待し、産地
特産品の開発に力を注ぎ本
町の特色を十分整備しなが



イベントでにぎわうまちづくり

らPRに努め市街地の活性
化につなげたい。

連盟の連携指導を受けなが
ら町内の指導員育成を図る
と共に学校の先生も指導で
きる方の招へいに努力し、
将来的には専門の指導者が
定住してくれることを期待
し、教育委員会としても努
力する。
新年度においては、健康
維持増進を目的とする、総
合型地域スポーツクラブ育
成の取り組みも進められる
ことから、4月に道より社
会教育主事が派遣される。
専門部署については町長
部局と相談する。

一 般 質 問



岩崎 議員

質問事項

1. 改善・取り組みを約束した事柄が実行されないことについて
2. 町民参加型のまちづくりの視点からの町有の備品使用について
3. 団塊世代の第2の人生設計と心をつかむ定住対策について

住民活動に 町有備品の有効活用を

質問 町有の備品使用について、現状の基準、運用の実態がどのようになっていくのか、一定の基準を設けて町民活動に資する部分についてはまちづくりの視点から、町が保有するさまざまな備品を有効活用し住民活動支援センター的な場所を開いて住民活動を進めていく積極策は。

使用目的から その考えはない

町長 基本的には住民の使用目的に買ったものではなく、公に使用するというところから一般町民が使用する基準は設けていない、印刷機使用などは民間を圧迫すべきではなく、民間にそういう施設がなくなった時、センター的なものは必要。

団塊世代の 定住対策は

質問 団塊世代の第二の人生設計と心をつかむ定住策について、来年から団塊世代の退職が始まり、7

00万人から10000万人が自由人に、そのうち23%に田舎暮らし田舎と都会の行き来をしたい希望者がおり、単純に1800程度の自治体数で割ると、一市町村平均1200人もの人が次ぎの定住の場を求めている。

団塊世代のセカンドライフの受け皿として美深町が果たす役割、積極的・計画的な政策は。

体制の充実・ 観光環境整備に

町長 まず体制の充実、美深アイランドを中心とした観光客の誘致、道の駅トイレ整備・温泉の改修で今回予算計上し、観光事業をどう具体化していくか、天木跡地の宅地分譲も課題、ただ、団塊世代が1200人美深に全部くるというのであれば、これはどうしますかと言う事になるが、何人来るかわからない段階で計画を出せといっても無理。

商工会の 今後の対応は

質問 商工会は、町内中小企業の総合的な改善、国民経済の健全発展に奇与することを目的として昭和35年に開設され、以来46年の間、北海道商工連合会また美深町の指導の下に中小企業の指導、商店街の活性化、町内のイベント等、道・町の補助を受け取り組まれた現在わが国の経済は一部には持ち直しの状況といわれているが、北海道さらに道北

人件費は 100%補助

町長 商工会は当初、任意団体で、商工会法が制定された法的な団体となる。道の方から経営改善指導員等に対する道の補助また

の地域においては極めて不透明な状況、町長の18年度の町政執行方針では、商工会の事業活動さらに地域振興事業商店街活性化等については支援を継続と言うが商工会の事業運営に対し今後の対応を伺う。



菅野 議員

質問事項

1. 商工業対策について



進む住宅建設

ご冥福を お祈りいたします

故 山口 清 議員

去る3月13日名寄市立病院に入院加療中に急性心筋梗塞にて急逝されました。誠に痛惜哀悼の念に耐えません。

昭和42年39歳で美深町議会議員に初当選されて現在まで9期目35年間の議員活動でした山口議員は、町政

に対する深い洞察力を持ち、卓越した見識と情熱のなか剛直にして温情あふれるお人柄には、町政を執行する理事者、職員にも尊敬され町民に深い信頼を受け、大



在りし日の山口議員

きな期待を寄せられておられました。

この度は、右大腿痛にて歩行困難にて3月7日入院されて今回の第1回の定例議会、予算議会に出席すべきと枕元には「議案書を置きながらの入院でした」とお聞きいたしました山口議員の心中を察するに大変無念のことであったと思ひ、突然の帰らぬ旅立ちご遺族の皆様的心中を察するにお慰めの言葉もありません。

山口議員、あなたはいま、郷土美深を心から愛し発展する未来に思いを馳せておられることでしょう。

私共は、わが町を愛し、わが町を思い続けてこられましたあなたのご遺志を受け継ぎ、美深町の発展と明るい地域社会、町民の幸せのために、渾身の努力を傾注してまいりますことを、お誓いいたします次第でございます。

ここに、あなたの在りし日の面影をしのび、やすらかに往生下さい。ご遺族の皆様のご多幸をご祈念申し上げます。

議会を傍聴してみませんか

平成18年第2回定例会は
6月中旬に開かれる予定です。

第1回 臨時会が 開催された

(平成18年2月21日)

平成18年第1回町議会臨時会が開催される。平成17年度一般会計補正予算は、びふかアイランド管理費でふるさと館給湯ボイラー取替え工事請負費は346万円追加、全員賛成で可決。
名寄地区衛生施設事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び名寄地区衛生施設事務組合規約の変更で、組合議員の定数は18年の中に見直すこととし、賛成多数で可決。



2町1村の拠点となる商工会

町も基本的に指導員等、人件費に対しては、道費を除き全額、町の補助で運営している。

今後は、道の方も大変財政難であり、このまま道費補助が継続されるか心配の面もあるが、商工振興を捉えるとき、大変な時代で基本的には職員の補助、人件費等については100%の補助をしていく考え。
再質問 商工会の一事業の夜市事業の補助も廃止、また14年から進められて来た

商工業店舗近代化促進条例も時限立法により今年で終了するこの2件について今後も継続する考えは。

町長 夜市事業については相当続いているので自力で行えると思ひ補助は廃止した。花見の事業は予算要求がないので削除。
近代化促進条例の補助については、私は継続も考えてよいと思うが、今後においてはそのつど検討をして進めていきたい。

こんなことを 調査しました

委員会レポート

総務常任委員会

▽調査事項 上川北部消防事務組合について

▽調査月日 2月3日

▽調査内容

事務組合の枠組みは、昭和46年に名寄・風連・下川・美深・音威子府・中川で結成されてきたが、今回風連町と名寄市の合併により18年度から1市3町1村の構成となる。

各市町村の負担金は、人口割25%、世帯割50%、面積割5%、財政割20%の分担率で決定される。

消防職員数は、国の基準では26名であるが、本町は現在19名で対応。

▽調査のまとめ

組合の性質から共同処理できる事務・事業等是一元化し事務の効率化経費の削減等につながるよう組合体制の改善をすべきである。特に人件費の見直し、職員勤務実態の見直し、出納業務の一元化等が上げられる。



火災防御の状況

社会常任委員会

▽調査事項 公的施設のアスベスト使用状況について

▽調査月日 1月27日

▽調査内容

昨年8月に施設85箇所の調査をした結果、庁舎ボイラー室とアリーナ天井の2箇所から検出され、アリーナは微量の検出が見られた。使用には問題がないが、年2回の検査を行う。

庁舎のボイラー室は、飛散が著しいために改修する。

家庭用品についても124社、521製品に使用されている。

▽調査のまとめ

①庁舎ボイラー室は、基準値を上回るクロシドライトが19・9%飛散している状況、早急に対応が必要。

②町民体育館、アリーナ天井の建材は、固形状のもので飛散位置も少数、不特定多数の人が使用、年2回の調査は必ず行うこと。

③家庭用品は、固形状で使用され問題はないが、住民にも周知が必要。



現在通学されている小学校

▽調査事項 教育施設の状態について

▽調査月日 1月27日

▽調査内容

①美深小学校の耐力度調査において、昭和39年～40年の校舎については改築との判断、また昭和40年建築の体育館については、耐力度調査により不適格と判断し解体の考え。

昭和50年～52年度建設の校舎、屋内体育館は改修し既存の建物を使用する。

学校改修の推進は、今年基本設計・基本構想等、特色を取り入れ立ち上げたい。②中学校は、格技場等は経年経過に伴い建物の老朽化

が著しく改修・改築の時期に向かつており、耐震度の問題も指摘され、平成22年に改修の予定。

③幼稚園の施設については幼保一元化を考慮して対応していきたい。

▽調査のまとめ

- ①小学校の改築、改修は、広く意見を聞き特色のある施設を作る必要がある。
- ②学童保育も視野に入れながら構想を立てるべき。
- ③中学校は、平成22年に改修に入る予定、校舎内部の雨漏りも数箇所見られ、早急な改修が必要と思われる。
- ④保育所の施設は古く、一元化を視野に入れながら対応を急ぐ必要がある。

産業建設常任委員会

▽調査事項 農業振興センターについて

▽調査月日 2月16日

▽調査内容

- ①加工施設の利用状況は、通年利用しているが特に10月～4月に集中している。
- ②土壌診断関係：一般分析（春・秋）、西紋地区モデル

土壌診断、アスパラ作付地診断、水田診断、簡易分析（PH・EC）、馬鈴薯シスト対策等全体で約480点を実施している。

③気象情報関係：5月～10月、6カ月間ウェザーニューズから局地、短期予報をメールボックスに蓄積し農家が必要に応じ自由に利用している。

④ファクシミリ関係：一般の通信方法とグループ毎の通信方法が有り、関係機関からの送信が主な物である。

⑤パソコン研修関係：美深町農業経営研究会が、中心となって12月～3月に農業簿記記帳、経営分析を行っている。

⑥試験展示圃関係：美深町に定着している作物の技術・品種改良による地域適応性、有望作物、基幹野菜としての持続性と収量アップ等の試験をしている。

試験結果は、各営農集団に送付し、生産組織の総会、講習会にデータとし営農の参考としている。

▽調査のまとめ

現状においては、費用対効果の面からは満足はいく

ものにはなっていない。

平成19年度から始まる品目横断的価格安定対策も視野に入れた、運営の再検討をすべきであり、行政と農協、農業振興センター運営協議会のなかで、運営に対する協議が重要課題。



産業建設常任委員会の審議状況

▽調査事項 美深ボランティア・サポート・プログラムについて

▽調査月日 2月16日

▽調査内容

18年～19年の2カ年で北海道開発建設部による「国道40号線歩道維持補修工事」が市街地6線～9線の区間において計画され、旭川開発建設部美深道路維持事業所よりボランティア・サポート

ト・プログラムの提言を受け、国道40号市街地の歩道づくり懇話会を始め、各商店街、町内会において説明が行われている。

今後は、美深町市街地の6～9線間の各商店街及び町内会等の役員を中心に地域周知方法等が協議される。

議会運営委員会

▽2月21日

平成18年第1回臨時会の日程等議会運営に関する事項について協議。

▽3月1日・8日・10日・13日・17日

平成18年第1回定例議会の日程・議案の取り扱い・意見書・追加議案の取り扱い等について協議。

広報特別委員会

▽3月17日・4月7日・10日・11日・12日・13日・20日

新しい委員が就任し、第1回臨時会、第1回定例会に係る議会広報57号の編集

会議及び起稿・編集校正作業を行った。

特養民間移管に関する調査特別委員会

第3回美深町特別養護老人ホームの民間移管に関する調査特別委員会は、3月23日委員会室において開催、町側より、助役・総務課長・住民生活課長・保険福祉グループ主幹・特養所長の出席の下、初めに特養所長より平成12年～17年の決算の概要については、資料を基にして説明を受ける。

質問 収入が年々下がっている現状については。

特養所長 介護報酬の単価の減とユニットケアが増えたため、収入減になる質問 給与体系は、年齢給か、職能給で行くのか。

助役 職能給は現段階では考えていない、将来的には福祉会の体制に合わせる。

今後福祉会と、町側とで特養の運営計画を立て資料を9月まで作成予定。

4回目の委員会を9月末に開催予定。

私からのひとこと



第2町内会

登坂 紘子

まだ春が行ったり来たりこの頃、昨年主人の17回忌がすぎ、娘2人も結婚し、私も仕事を退職しました。これから何か目標を見つけないと、と思っているところへ3年前ごみ処理問題で着なくなつた着物など捨てるのではなく、洋服や色々な物にリフォームして生かしたいという事で、『呼布の会』という名称で、美深と名寄の主婦が現在55名程の会員で起ち上げ、私も会

雑感 呼布と私

上川支庁の呼びかけで和服リフォームショーを毎年6月に開催し、今年は4年目になります。行き先々の町、街の人達

員の一人として町の皆さんから頂いた着物、母の古着をほどこき裁断・製作、そしてモデル、年齢の中も広く、最高齢82歳のおばちゃん達とも楽しんでいきます。の参加も増え年々輪が広がっていることは、うれしい事です。2年後には東京美深会の協賛で八王子市でのショーも計画され、夢がふくらみます。美深町の新しい芽がはぐくむ、夢と希望にあふれる町づくりのためになりたいものと、みんなで楽しみながら長く続く事を祈るところです。



第1町内会

宮原 宏明

定年退職して、33年ぶりに故郷に帰ってから、もう2年がたちました。振り返れば、美深町を振り出しに上川管内で9回の転勤(引越し)をしたことになりました。それぞれの地域に突然住居を移し、知人のいない中で戸惑いながらやっと落ち着いたところ、また引越しの繰り返しでした。それなりの苦労もありま

故郷にて

町外にいたときは、新聞やマスコミでの美深町の記事に注目したり、富良野地方の公民館に美深町名誉市民の揮毫の額を見つけて、

思わず話に力が入ったりもしました。今は、外部から見ていること(よそ者の目)と住民となつてからの実態の差を感じながら、今まで積み上げてきた地域の伝統やシキタリを尊重しつつ、自己の賞味期限の中で少しでも役立つ、自然体の生き方をしたいものと思うこの頃です。



上：倉兼、藤守、菅野 下：村山、今泉、諸岡

編集後記
平成4年4月に議会広報創刊号が発行、時の山口清広報特別委員会委員長を中心に原稿を起こしていた様子が目に浮かぶ。今は、主の居なくなった議員席を見ていると、思いがよみがえる。その時から今も変わらないのは、「見てもらえる紙面づくり」の試行錯誤、今回、広報委員3人が入れ替わつての編集、悩みは同じ、ご意見を、と思うしだいで